

KYOTO AYABE ICHISHI AtoZ

水源の里 市志

AtoZ



MESSAGE

この AtoZ は龍谷大学政策学部的場ゼミナールと市志住民が協力して作りあげたものです。

観光客が増え続ける京都。しかし、京都の魅力は市内の歴史のある街並みや、風景だけではありません。少し北に行くと、都会の喧騒を忘れさせてくれる大自然が待っています。そしてここ市志では住民たちが様々な活動を行っています。活性化させたいという住民たちの強い思いや市志の魅力がこのミニブックから伝わって欲しいです。

ABOUT

緑に囲まれた大自然の中で、都会では出来ない様々な体験が出来る市志。ゆるやかな時間の流れを感じ、充実した生活を送ることが出来ます。

水源の里・市志
人口 21 人 9 世帯
2018 年 3 月現在



春 市志公民館前に咲く満開の桜の木の下で、市志住民はお花見を毎年楽しめます。

秋 秋の市志を満喫できるイベントがあり、芋煮会・たき火焼き芋体験・里芋収穫体験など盛りだくさんの内容で実施されます。

夏 市志目列行事である夏まつりがあり、焼きそばやイカ焼きなどを準備し、帰省された人を歓迎します。

冬 雪が降ると、あたり一面は幻想的な風景に様変わりします。冬にしか出会えない景色を見ることが出来ます。

CONTENTS

A Aromatherapy MANA
アロマセラピー MANA

B Basic
ベーシック

C Cherry blossom
桜

D Dongri no mori
どんぐりの森

E Egao
笑顔

F Fukibatake
ふき畑

G Guesthouse & Restaurant "Karunaan"
ゲストハウス&レストランかるな庵

H Hotaru
ほたる

I Iwa
蛇紋岩 (じゃもんがん)

J Kasa jizo densetsu
笠地藏伝説

K Kazika
農家民泊 かじか

L Long
長い、中身の豊富な

M Mimamori
見守り

N Natsu-matsuri
夏まつり

O Owner-seido
ふきオーナー制度

P Piece
かけら

Q Quiet
静けさ

R River
川

S Suisen & Higanbana no oka
スイセンとヒガンバナの丘

T Trekking course
トレッキングコース

U U-Turn
Uターン

V Variation
多様な

W Winter
冬

X X
交流

Y Yasoi
野菜

Z Zeal
熱意



オーガニックや野生植物の精油を使用し、一人一人の健康状態や思いに寄り添い、心のもったケアを行っています。都会ではセラピー後すぐに現実に戻ってしまいますが、桃源郷のような場所「市志」では、非日常と特別感、癒しの時間を感じることができます。

アロマセラピーMANA

市志は、都会では味わうことが出来ない豊かな自然の中で、昔ながらの暮らしを体験出来る素晴らしい場所です。ここでは、太陽のリズムで目覚め、生活し、畑で野菜を作り、それらを調理し食べ、自給自足を行い、自然と調和しながら人間本来のベーシックな生活を送ることができます。

ベーシック

市志公民館の前や、畑口川沿いにある桜に加え平成30年3月、光野峠トレッキングコース沿いに新たに40本の桜が植樹されました。春になると住民たちは満開の桜の下でお花見を楽しみます。周りの自然と調和した、都会で见ている桜とは違った桜を見ることができます。

桜



Dongurinomori



Egao



Fukibatake

市志では平成25年から5年かけて里山を「どんぐりの森」として再生しました。この森には四季折々の花が咲き、珍しい動植物がいます。また、昆虫採集や自然観察などを行い、森林とのふれあいの中で田舎や森林の役割を学ぶ「森林学習」というイベントを、子供向けに毎年開催しています。

どんぐりの森

「笑う門には福来る」。市志は日常生活に笑顔が溢れており、笑顔には幸福を引き寄せる力があります。住民同士の関わりが密接で、多くのコミュニケーションを取っているのです。笑顔は人を幸せにし、若返らせ、長生きさせてくれます。

笑顔

フキは水が豊富で風があまり強くない土地を好み繁殖します。市志のふきはブランド化されており、農協を通して京都市場へ販売しています。春にはふきのとうが畑一面に広がります。春になったら市志の「スイセンとヒガンバナの丘」からの素晴らしい眺めを見に来てはいかがですか？

ふき畑

G

Guesthouse
& Restaurant
karunaan

H

Hotaru

I

Iwa



市志に魅力を感じ、移住した1ターンの夫妻が経営するゲストハウス。「かるな」とはインドの言葉で「思いやり」という意味があり、その気持ちを大切にしています。お食事は基本的に家で取れた野菜を使った菜食料理ですが、ご要望によって柔軟に対応してくれます。

ゲストハウス&レストラン かるな庵

市志の魅力の1つであるきれいな川には、たくさんの蛍が生息しています。汚染されていない川にしか生息しない蛍にとっては、市志の川は最高の環境です。蛍の幻想的な光を見ることで疲れた心を癒してくれるでしょう。都会ではあまり見ることのできない癒しの光を感じてみませんか？

ほたる

蛇紋岩とは蛇紋石を主成分鉱物とする岩石です。鉄分を含んでいるため、磁石がひっつきます。鉄分を含む蛇紋岩を流れる水は、ミネラル豊富でとても美味しいです。その水でお米や野菜を作っているため、市志で作られる作物はどこ地域よりも新鮮で美味しいです。

蛇紋岩（じやもんがん）



笠地藏伝説

J
Kasa Jizo
densetsu

誰もが知っている昔話「かさじぞう」。この市志にも、かさじぞう伝説が存在していると昔から言い伝えられています。冬には、おばあちゃん達が手編みの帽子をかけて大切にしています。たくさんの小さい地藏が市志公民館の横にあるので、探してみてください！

笠地藏伝説



K
Kajika

市志にある農家民泊。市志の魅力を満喫できる場所です。縁側に腰掛けて、川のせせらぎを聞きながらのんびり過ごすことができ、夏には蛍を見ることもできます。民宿の名前にもなっているカジカガエルの合唱を聴きながら自然の風景を眺める時間は、都会の喧騒を忘れさせ、私たちを癒してくれます。

農家民泊かじか



L
Long

都会では、長時間通勤、長時間労働があたりまえて、1日があっという間に過ぎてしまいます。しかし市志では、ゆったりとした時間を過ごすことができます。また、「Long」には「中身の豊富な」という意味もあり、密度の濃い、充実した生活を送ることができます。

長い、中身の豊富な



M

Mimamori



N

Natsu-matsuri



O

Owner-seido

市志では地域の見守りのために、「火の用心」を毎日夕暮れ時に行っています。これは約100年続いていて、回覧板のように地域住民で回して順番に行っています。これは、自分だけでなく周りの人々の安全も気にかけている証拠で、地域の皆さんの人間性がよく現れています。

見守り

毎年8月のお盆に、20数年続いているふるさと祭り。市志公民館前の川の上に川床が作られ、特設の観覧席が用意されているのが特徴です。夏まつりでは、都市部に出ている人や孫やひ孫も里帰りして、イベントを楽しんでいます。

夏まつり

市志の交流はふきオーナー制度から始まりました。交流会で共に作業した後に頂く、おにぎりとお具だくさんの豚汁は忘れられない定番メニューです。水源の里・清水のお土産も販売してもらっています。お互いの近況など、話は尽きません。

ふきオーナー制度



P
Piece



Q
Quiet



R
River

市志では生活していく上で、1人ではできないことや足りない部分を住民同士で助け合って暮らしています。住民1人1人がこの地域にとって欠かせない、かけがえのない1つのPieceです。それらが繋がって住民の生活、地域を成り立たせています。

かけら

都会では、店のBGM、自動車のエンジン音など、気づかない間に人工的な音を聞いています。しかし、市志では田舎ならではの特徴である静けさを体感できます。川のせせらぎや小鳥のさえずり、虫の鳴き声など、普段聞くことができない自然の音に耳を傾けてみませんか？

静けさ

水源の里の名に相応しい立派な川、畑口川が市志には流れています。都会では見ることのできない澄んだ水が流れるとても美しい川です。市志で生まれた人々は誰しもがここで遊び、共に過ごしてきました。子供ならば遊び、大人ならその川に見とれてしまうほど、魅力のある川です。

川

S

Suisen & Higanbana
no oka

T

Trekking course

U

U-Turn

春には、広さ約1,200㎡の広大な敷地に植栽した2種類の12000球のスイセン、秋には畦のヒガンバナが楽しめます。ヒガンバナの花言葉には「また会う日を楽しみに」という意味があり、美しい花をきっかけに市志に来ていただいた人達にまた来てもらえるようにと願いを込めています。

スイセンとヒガンバナの丘

市志と光野をつなぐ「光野峠」。昔は、この峠を越えて行き来していました。その道を「光野峠トレッキングコース」として整備し、地域住民・都市の人との交流ができる仕組みづくりを進めています。トレッキングコースの道中に滝が確認されたほか、ミツマタの群生も発見されました。

トレッキングコース

市志では、働くために違う地域に移住した方々がいらっしゃいます。ですが、自分たちが生まれ育った市志に、もう一度帰ってくる人たちもたくさんいます。そのまま都会に住むことも選択できますが、Uターンして来るほどの魅力が、市志には溢れています。

Uターン



Variation



Winter



X

市志住民は、アロマセラピーや陶芸、家庭菜園を楽しんだり、綾部市内に働きに出たり、農地を開拓してみたりと、様々な生活スタイルを持っています。時間に縛られない自由な生活を、それぞれの時間でみんなが送っています。自分にピッタリの「時間の使い方、生き方」を見つけられる場所です。

多様な

市志は春夏秋冬さまざまな姿を見せられます。中でも冬は一番幻想的で、地域全体に雪が積もり、一面に銀世界が広がります。夏の川遊びなどとは違う冬ならではの遊びができるので、子供にとっては夢のような世界！時間を忘れて遊んでしまうでしょう。

冬

市志では交流を大切にしています。「かじか」や「かるな庵」で市志に滞在する観光客との交流をはじめ、女性の会や高齢者の会など地元住民が集まって世間話をする機会もあり、住民同士の交流も大切にしています。この住民の交流が、市志の団結力を生み出しています。

交流



白菜・大根・ピーマン・茄子・生姜・里芋・サツマイモ・山芋・ゴボウなどのたくさんの野菜を各家庭で作っています。自分自身が作った野菜で食事を作ること、食べることで、「体が喜ぶ」ということを実感できます。体にとって良い野菜を食べることは健康に繋がります。

野菜



市志住民たちには市志を活性化させたい！という強い熱意があります。いろいろなイベントを考えて実施しています。イベントの中で市志の魅力を伝え、市志住民と参加者の交流を大切にしています。イベントの内容は様々で、都市部では中々できないような体験ができます。

熱意

AtoZ 制作風景



市志の方との集合写真☆



AからZで市志の魅力を伝えるって楽しい！◎市志公民館



市志のみなさんと一緒に真面目に考えました…！◎京都市内

MEMBER



上野 太郎
(水源の里・市志)

空気の生まれる場所・・・って聞いたことありますか？最近耳にしました。野良へ出て一汗、手を休めて腰を下ろした時、何処からともなく絶妙な心地よさの風が吹いてくることがあります。そんな風が吹いてくる場所からの物語です。手に取っていただきありがとうございます。



柴田 優里
(龍谷大学の場ゼミ)

作成する際、市志の方々と話し合う中で、沢山の魅力に気づくことができ、より市志の良さを感じることができました。地域の方も私たちが納得いく AtoZ を作成することができて良かったです。



里出 佳奈美
(龍谷大学の場ゼミ)

私たちから見た市志の魅力と、住民の方々からみた魅力が違うところが面白かったです。話し合いながら作り上げていくうちお互いに新たな魅力にも気づけて、良い AtoZ が作れたのではないかと思います。



秋原 雄治
(水源の里・市志)

市志は山があり薪を利用できる。また上流に位置しており、農業に汚染されていない水で米作りも可能だ。しかし、生活の為に収入は必要だ。外に出ずに仕事ができる人が、時間のロスが少なく有利だろう。様々な職業の人が集まる所になるのも面白い。



秋原 和代
(水源の里・市志)

1ターンはゼロからのスタート。力及ばず夢破れることも。だからこそ地域活動とのバランスに悩むことも。移住9年となり、1ターンがしっかりと生活（家庭を守り夢を実現）できる事が地域の魅力となる優先事項と思える。助け合い皆に幸せと希望のある集落になれば嬉しい。



大橋 智哉
(龍谷大学の場ゼミ)

最初は AtoZ の内容を決めるのに苦労するのではないかと考えていましたが、積極的に市志の方々から AtoZ に入れる魅力の案を出してもらったので、スムーズに完成させることができました。

What's 水源の里 AtoZ

平成 19 年、全国に先駆けスタートした「水源の里」は、平成 29 年に 3 回目の条例改正を経て、更に活動を拡大しています。「水源の里 AtoZ」は、学生の目線から見た「水源の里」を、1 冊の小冊子にまとめたものです。



阪田 万里子
(水源の里・市志)

自称ハイジと申します。ペーターが長男でUターンし2年後に戻りました。若い時は山奥の生活がイヤでしたが大人になったら良いことを探そう気分になり野菜づくり美味しい空気に感動しました。大都会に無いこんな世界を見にお越しください。



阪田 宗夫
(水源の里・市志)

あたたかく誇りを持ってうけいれします。まるでふるさとに帰ってきた様に楽しい時間を一緒に。素敵な気持ちで接します。多くの方に「市志」へ訪れて頂き類縁(るいえん)をむすんでまいります。



仲地 宏平
(龍谷大学の場ゼミ)

AtoZの作成を通して、市志に入ってみたいとわからない魅力に気づくことができました。普段の生活で味わう事ができない体験や時間を過ごすことができると思うので、この魅力を実際に市志に来て体感していただきたいです。



阪田 薫
(水源の里・市志)

水源の里市志は由良川の上流に位置し、川沿いに20戸の家が立ち並ぶ自然いっぱいの集落。集落のキーワードは「交流」です。AtoZをご覧の皆さん、是非市志をお尋ね下さい。歓迎します。



水谷 太一
(水源の里・市志)

私自身は、市志の可能性、良さを確信していますが、大学生の皆様のお陰で様々な魅力を再確認することができました。あえて付け加えるとしたら「人」の魅力ですかね。それが移住を決めた最大の要因だからです。市志の人たちは素晴らしいですよ！



的場 信敏
(龍谷大学教員)

今回のAtoZで、地域の文化、伝統、自然などたくさんの「売り」を紹介しましたが、何よりの「売り」は、集落の皆さんです。懐かしい温かさを感じてくれます。仕事を辞めることが出来たら本気で移住したいかも！?

学生は繰り返し集落を訪れ交流を重ね、地元の方々はこのまでの集落の歴史・魅力を見つめ直し、両者が力を合わせ、この「集落の名刺」を紡ぎ出しました。これからも「水源の里 AtoZ」をはじめとした農村都市交流、水源の里集落と外部組織との連携事業を推進していきます。

水源の里・市志 AtoZ

発行日 2019年3月1日

制作 龍谷大学政策学部的場ゼミ

柴田 優里
里出 佳奈美
大橋 智哉
仲地 宏平

協力 水源の里・市志の皆様
的場 信敬（龍谷大学政策学部教授）
塩見 直紀
（半農半X研究所、福知山公立大学准教授、総務省地域力創造アドバイザー）
滋野 正道（龍谷大学文学部プロジェクトアシスタント）

発行 あやべ水源の里連絡協議会
（綾部市役所定住・地域政策課 上林いきいきセンター）
京都府綾部市八津合町上荒木 5
TEL 0773-54-0095 MAIL teijyutiiki@city.ayabe.lg.jp
HP <https://www.city.ayabe.lg.jp/>



あやべ水源の里 Facebook ページ

水源の里の「今」をお届け。

イベント情報や水源の里の四季をどこよりも早くお伝えします。

